

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 27 年 12 月発行 **72-2**

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

「お手玉遊び・石なんご遊び体験講座」開く

～とっとりのお手玉の会が 20 周年に 2 つの事業～

とっとりのお手玉の会(福田環会長)は、今年、支部設立 20 周年を迎えました。それを記念して、『おとなと子どもの お手玉遊び・石なんご遊び体験講座』を、平成 27 年 10 月 24 日(土)、倉吉未来中心アトリウムで開催しました。

体験講座は、広々とした会場に、①お手玉を作る、②石なんご遊び、③お手玉の歴史と石なんごを語る、④お手玉の技への挑戦など、4 つのコーナーを設け、1 日中、出入り自由で、思い思いのコーナーに、おとなと子ども延べ 100 人が参加し、それぞれなごやかに、楽しいひとときを過ごしました。



(写真左から：20 周年記念事業の開幕、子どもたちも元気に、お手玉の魅力を語る)

「お手玉のあゆみ 20 年」特集号を発行



もう一つの記念事業として、支部の 20 年の活動をまとめた、「お手玉通信」No. 32『お手玉のあゆみ・特集号』(A4 版、8 頁、モノクロ)を発行しました。(写真：左)

記念号の巻頭で、福田会長は次のように述べています。

「お手玉を伝統文化として、またなぜお手玉なの、と繰り返しながら 20 年を経過した今が、節目の時のように思われます。お手玉の歴史と伝統を守ることは、原点であり、再認識したいとの思いがしきりです。(中略)

『とっとりのお手玉の会』は、伝承文化としての本来のあり方を忘れることなく、地道に歩んできたと思っています。

昔から伝わる技に感動する中で、新しい技が生まれ、遊びが生まれる楽しさは、『お手玉』の持つ魅力であり、原点です。個々の視点で、お手玉の魅力に気づいてほしいと思います。(後略)

特集号には、これまでの「お手玉通信」の抜粋、中央紙に取り上げられたこと、お手玉遊びの集い一覧表、「お手玉のルーツ石なんごを語る集い」の記録、梶島和江副会長の随筆『運針』、会員 12 人の声、鳥取地方の「お手玉歌」などが紹介されています。